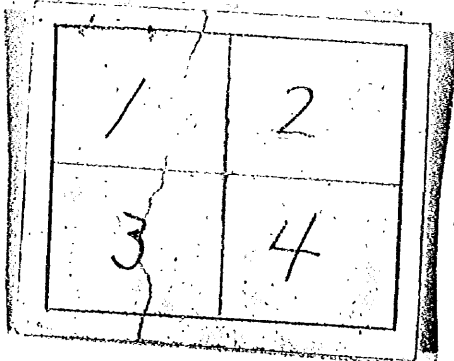


# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1581  
1582  
1583

86

部隊原簿

佐世簿

第一四八号

部隊原簿

在  
世  
簿  
上

第一四八師團

304

# 部隊原簿

征世録

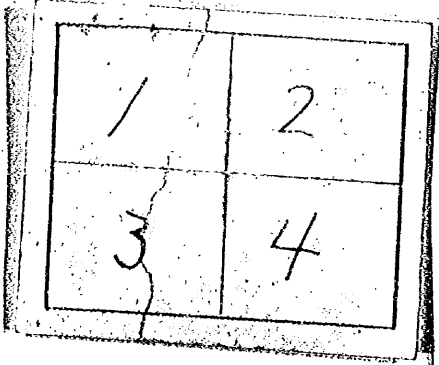
第一四八師團

部隊原簿

佐々木 經

第一四八師團

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

第三方面軍三〇軍部隊名第一四八師團司令部

通稱 敦富嶽 二七三三二

郵便所名

全般概要

二〇、七、一〇編成令  
 二〇、八、五完結(新京)  
 第一〇一聯隊司令部の改編  
 駐屯地(四)  
 編成人員 二四〇名  
 開戦時の人員 五八〇名  
 八、一一 新京居滞の防衛  
 八、一五、八、一八 滿洲軍  
 勦滅の爲戦斗  
 八、一七 召解一三名  
 解雇(女子五五〇名)  
 八、一八、九、二迄  
 難産約四〇名  
 八、二〇 武備「新京」  
 武備后々命令により新京市  
 内を掃々とし商館に集結  
 結后々軍の指示により新京  
 駐屯司令部となり全新京  
 地防隊の指揮及統制に任ず  
 二〇、九、一〇  
 作業大隊編成  
 奉天五八八(PO)大隊中隊  
 以下三〇〇名  
 一〇、三〇 新京警備河野時  
 入(ソ)部隊(二三)名  
 二、二、二 新京發白旗子、  
 滿洲里經由入(ソ)備下將校  
 以將校大隊編入  
 終戦時滿洲國第四高等師團  
 配属されたり(通称武  
 官部隊)  
 日本特攻一五名商館攻撃  
 部隊長  
 少佐(少校)小畑忠雄以下  
 乗船により日本特攻三名戦  
 死す

轉入  
 十九年以降  
 三〇、七、八  
 召解 三三名  
 一〇、七、一五  
 滿洲里經由  
 二〇〇名  
 二〇、七、一五  
 中隊より  
 二、二名  
 二〇、七、三一  
 召解 八〇名  
 二〇、八、一  
 關軍司 三名  
 二〇、八、二  
 參謀長 一名  
 二〇、八、二  
 關軍司  
 三五〇名

轉出  
 十九年以降

人員編制

240

師團	隊長名	團長	參謀	副官	經理	兵衛	軍醫	醫務	勤
第一四八師團	中將 末光 元廣 (内は先代を示す)	大佐 坂本 龍	主中佐 寺内	大佐 佐藤	大佐 佐藤	大佐 佐藤	大佐 佐藤	大佐 佐藤	大佐 佐藤
人員	1	12	13	15	6	7	4	同	同
駐屯地	新京	右同	右同	右同	右同	右同	右同	同	同
戦闘間の状況及損耗									
終戦後の人員變動									
作業大隊より入(ソ)迄の變動									
入(ソ)人員									
滿洲残留									

カクイ (同 右)  
 イルグーツク (同 右)  
 マルシヤンヌク 七〇六四  
 シヤンヌク  
 (勤務隊)  
 (滿洲里經由)  
 滿洲里經由  
 滿洲里經由

勤	部 醫 隊	部 醫 軍	部 醫 兵	部 理 經	部 官 副	部 謀 參	長 團 師	員 人 調 編
		醫大佐 佐深		主中佐 寺内		大佐 坂本 聡	中將 末光 元廣	隊 長 名 ( )内は先代を示す
	4	7	6	15	13	12	1	時 員 数 平 駐 時 屯 数 地 時
同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	京 新	戦 斗 間 の 状 況 及 損 耗
同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	京 新	
								終 戦 後 の 人 員 變 動
								作 業 大 隊 よ り 入 ソ 迄 の 變 動
								入 ソ 人 員 隊 別 計
								滿 洲 殘 留
								收 容 所 名
								所 人
								死 亡
								滿 洲 領 土 以 外 領 土 以 外 領 土
								計
								者 数
								狀 況 不 明

部隊名第一四八師團司令部  
通稱 遼陽 三三三三二

郵便所名





部 課 参 班 報 範	隊 信 通 空 制 子 女	隊 務 勤	部 醫 獸	部 醫 軍	部 醫 兵	部 理 經	部 官 副	部 課 参 長 課
				醫 大 佐 佐 深		主 中 佐 寺 内		六 佐 家 本 範
	35	170	4	7	6	15	18	12
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同

全員解雇す

全員解雇す

スレチンヌク二五  
(参謀部電報班)

マニシヤンヌク  
七〇六四

イングーッ  
(同 右)

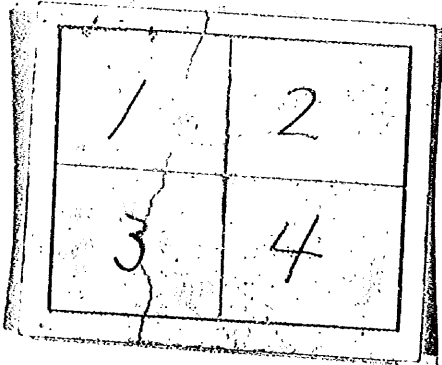
カクイ  
(同 右)

シヤンタイ  
(勤務隊)

チタ  
(演習班)

シラヒ  
(探偵班)

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

三〇軍

部隊名 歩兵第三八三聯隊 (一)

通稱號

滿洲 富嶽 三七三二二三

郵便所名

全般概要

轉入  
十九年以降

轉出  
十九年以降

員人訓編

隊長名  
(内は先代を示す)

駐屯地  
平戦時  
戦時

戰鬥間の狀況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より  
入ソノ迄の變動

隊別計

滿洲殘留

<p>八、二二 八、二二以降召集者約一、〇〇〇名召集す</p> <p>八、二二 各作業大隊に編入 新隊六六(八、二四) 鈴木大尉 主力編入 の一部編入</p>		<p>七、八、七三〇 新隊六六(八、二四) 〇部隊に七四兵隊(陸國製 成連備)</p>		<p>八、二二 日ソ開戦に伴ひ聯隊は市内 警備の任務に就く 隊時人員約三、〇〇〇名</p> <p>八、一四 停戦命令受領</p>		<p>八、二二 新京武庫 治安維持の爲一部の兵器運 搬を遂げ、他は全部新京警科 大隊に帰属す、其後新京建 國大隊に收容さる。</p> <p>武庫迄の警備をして逃亡、 下士官兵四〇名召集</p>		<p>三〇、七、一〇編下今 二〇、七、三一編完結 (新京隊區) (新京隊區) 召集人員二〇 召集人員二〇 (新京在住者) 二〇、八、一二 召一編 召一〇〇〇</p>	
中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊聯	隊	3409	員人訓編		
		中尉 船橋	大尉 安城	大佐 鈴木親三 元新京兵事部長	隊長名 (内は先代を示す)				
右同	右同	右同	右同	京新	駐屯地				
右同	右同	右同	右同	京新	戦時				
					戰鬥間の狀況及損耗				
					終戦後の人員變動				
					作業大隊より 入ソノ迄の變動				
					隊別計				
					滿洲殘留				

部隊名 歩兵第三八三聯隊 (一) 通稱 號 滿 獄 三 七 三 二 三 三

郵便所名

隊 別	隊 長 名	部 本 隊 聯	部 本 隊 大 一 第	隊 中 一 第	隊 中 二 第	中 三 第
隊 長 名 (内は先代を示す) 大佐 鈴木親三 元新京兵事部長	大尉 安城			中尉 越橋		
開入 戦時 員	駐屯地	京新	京新	右同	右同	右同
戦時 員	駐屯地	京新	京新	右同	右同	右同
戦闘箇の状況及損耗						
終戦後の人員變動						
作業大隊より 入ソノ返の變動						
入ソノ入員	隊別計					
滿洲殘留						
收 容 所 名	收 容 所	所 入	死 亡	滿 洲 領 員 計	歸 還 人 員	狀 況 不 明 者 数
バルカン第一、一 第三七、 第一、二機中第九 中隊)	プカチャチャ (第一大本部) 第二三 (通信中隊)	ツヤンカ (第一機中隊)	アングレン (第九中隊)	コムラード	マルシヤンスク (將校大隊)	

二〇、七、一〇  
二〇、七、一〇  
二〇、七、一〇

七、八、七、三〇  
七、八、七、三〇  
七、八、七、三〇

八、一、一  
八、一、一  
八、一、一

八、一、四  
八、一、四  
八、一、四

八、二、二  
八、二、二  
八、二、二

八、二、一  
八、二、一  
八、二、一

八、二、一  
八、二、一  
八、二、一

二〇、八、一  
二〇、八、一  
二〇、八、一

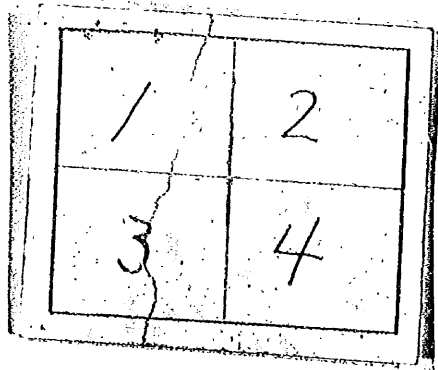
3409

隊中銃關機	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊二第
			中尉 船橋	大尉 安家	大尉 安家
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	京 新
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	京 新



# 分割撮影ターゲット

分割した  
部分の  
撮影順序



分割撮影  
した理由

A 3 判 以 上 の た め

上記のとおり分割撮影した事を証明する。



三〇軍  
 部隊名  
 歩兵第三八三聯隊(二)  
 通稱號  
 滿嶽三七三三三  
 郵便所名

全般概要  
 轉入  
 轉出  
 員入調編  
 別隊  
 隊長名  
 關人  
 駐屯地  
 戦闘間の状況及損耗  
 終戦後の人員變動  
 作業大隊より入「ソ」迄の變動  
 隊別計  
 満洲残留

新軍七大 P〇 安城大隊 (六中其他不明) 新京九六 P〇 鈴木大佐以下作業大隊 編成外若狭十三名兵十三台 新京大同軍隊に集結を命ぜ る。	一〇、二三入「ソ」 A兵に一部作業大隊の他 現地召募す 四十八水田少尉陸化隊にて 逃亡其他隊は二、二、二 入「ソ」マールンマキ 〇六四収容所へ収容せら れ	其の氏名左の如し P〇 鈴木親三 大佐 副官 河野 少尉 附 齊藤 中尉 河野 森田善子代少尉(キ) 河野 新田 少尉(キ) 河野 新田 少尉(キ) 河野 北村 少尉(キ) 同 北村 少尉 同 北村 少尉 一 中尉 船橋 中尉 六 中尉 朝長 少尉(キ) 編成外 井本 中尉 (キ) 井本 中尉 (キ) 井本 中尉 他は「マールンマキ」に強 左	十九年以降 十九年以降	員入調編	別隊	隊長名 (内は先代を不示す)	關人 駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	隊別計	満洲残留
第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵歩一第	隊	時員平	時員戦	時員時	時員時		
少尉 朝長 房雄 (召集)	少尉 大井	中尉 水垣 次郎	中尉 田中			京新	京新	京新	京新			
右同	右同	右同	右同	右同	右同	京新	京新	京新	京新			
八、一 興安橋より西野隊間に展開し作 戦行動につき八、一二前線に移動砲兵隊 前に展開するも戦行動なし												
新軍七大へ		水田少尉陸化隊にて逃亡										

部隊名 歩兵第三八三聯隊 (二) 通稱號

滿洲 富嶽三七三二二二

郵便所名

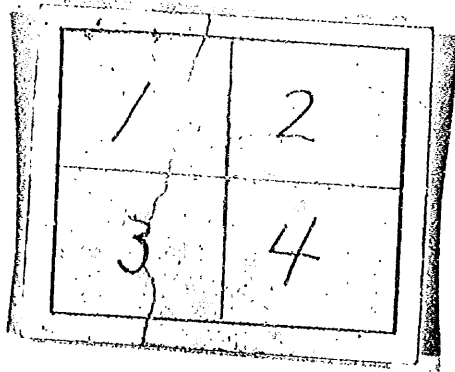
第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵歩一第	別除	
						隊長名 (内は先代を不す)	隊員
少尉 朝長 房雄 (召集)	少尉 大井	中尉 水垣 次郎	中尉 田中				開人 駐屯地
同	右同	右同	右同	右同	京新	平時	戰時
同	右同	右同	右同	右同	京新	戰時	戰時
<p>八、一二 興安橋より西朝陽間に展開し作戦行動につき八、一二部隊に移動し敵機攻撃前に展開するも戦行動なし</p>						<p>戦闘間の状況及損耗</p>	
<p>新京七六へ</p>						<p>終戦後の人員變動</p>	
<p>水頭少尉戦死</p>						<p>作業大隊より入ソノ迄の變動</p>	
						隊別	入ソノ人員
						計	滿洲殘留
						收容所名	收容所
						所入	死亡
						滿洲より	歸還人員
						領	計
						者	狀況不明
						数	

一〇、二三八「V」  
 (兵部一隊作業大隊の  
 現地指揮)  
 四中队水田少尉(戦死)  
 一〇、二三九「V」  
 (兵部一隊作業大隊の  
 現地指揮)  
 四中队水田少尉(戦死)  
 一〇、二三九「V」  
 (兵部一隊作業大隊の  
 現地指揮)  
 四中队水田少尉(戦死)  
 一〇、二三九「V」  
 (兵部一隊作業大隊の  
 現地指揮)  
 四中队水田少尉(戦死)

隊小砲兵歩二第	隊中六第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	隊行隊大一第	隊小砲兵歩一第
	少尉 朝長 房雄 (召集)	少尉 大井	中尉 水垣 夫郎	中尉 田中		
	180					
右同	右同	右同	右同	右同	右同	京新
右同	右同	右同	右同	右同	右同	京新
	八、一二 奥安橋より西朝陽間に展開し作 戦行動につき八、一二前線に移動の必要が 前に展開するも戦況行動なし					
	新塚七六		水垣少尉戦死にて逃亡			

隊小砲兵歩二第	隊中六第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵歩一
	少尉 朝長 房雄 (召集)	少尉 大井	中尉 水垣 次郎	中尉 田中		
	180					
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	哀 告
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	哀 告
八、一一 興安橋より西朝陽間に展開し作 敵行動につき八、一二 洲原に移駐 砲術學校 前に展開するも戰鬥行動なし						
(新章七六) 水垣少尉被弾化露にて逃亡						

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

三〇軍

三〇軍

部隊名 歩兵第三八三聯隊

(三)

通稱號

滿洲 三三七三三三

郵便所名

全般概要

轉入

轉出

人員編制

隊別

隊長名

開人

駐屯地

平時

戰時

時

戰鬥間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より  
入ソノの變動

隊別  
計

滿洲  
殘留

收  
收

中 八 第	隊 中 七 第	部本隊大三第	李行隊大二第	隊 中 銃 關 機 二 第
-------	---------	--------	--------	---------------

--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--

	右 同	右 同	右 同	右 同	京 新	
--	-----	-----	-----	-----	-----	--

	右 同	右 同	右 同	右 同	京 新	
--	-----	-----	-----	-----	-----	--

--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--

	同 右	同 左	八二四 新京六六			
--	-----	-----	----------	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--

部隊名 歩兵第三八三聯隊 (三) 通稱號 滿  
富嶽三七三二二三

郵便所名

出降					員人割編
中 八 第	隊 中 七 第	部本隊大三第	李行隊大二第	隊 中 銃 關 機 二 第	別 隊
					( ) 内は先代を示す 隊長名
					戦 闘 人 時 員
右 同	右 同	右 同	右 同	京 新	駐 屯 地 平 時 戦 時
右 同	右 同	右 同	右 同	京 新	戦 斗 間 の 状 況 及 損 耗
					終 戦 後 の 人 員 変 動
同 右	同 右	八、二四 新京六六			作 業 大 隊 よ り 入「ソ」迄の變動
					入「ソ」人員 隊 別 計
					滿 洲 殘 留
					收 容 所 名
					所 入 死 亡
					滿 洲 へ 領 計
					歸 還 人 員
					者 数 状 況 不 明

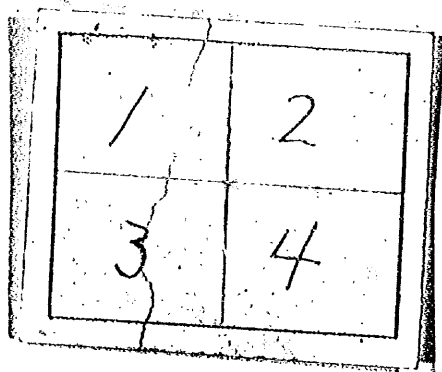
隊 中 九 第	隊 中 八 第	隊 中 七 第	部本隊大三第	李行隊大二第	隊 中 銃 砲 發 二 第
谷垣					
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	京 新
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	京 新
同 右	同 右	同 右	八、二區 新大六		



隊 中 九 第	隊 中 八 第	隊 中 七 第	部本隊大三第	季行隊大二第	隊 中 鑓 鑓 二 第
谷垣					
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	京 新
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	京 新
同 右	同 右	同 右	八三四 新 六八		

# 分割撮影ターゲット

分割した  
部分の  
撮影順序



分割撮影  
した理由

A 3 判 以 上 の た め

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

昭和二十一年  
三月三十一日  
現在

					全般概要	所属
					轉入 十九年以降	三〇軍
					轉出 十九年以降	
					員人副總	
中 信 通	隊 中 砲 兵 步	李行隊大三第	隊小砲兵步三第	隊 中 銃 關 機 三 第	別 隊	部隊名 步兵第三八三聯隊 (四)
	少尉 横山 壽郎				( )内は先代を 示す	
					戰 闘 間 時 員 平 時 戰 時	駐屯地
右 同	右 同	右 同	右 同	京 新		通稱號 滿 富嶽 三七三二二三
右 同	右 同	右 同	右 同	京 新		
					戰鬥間の状況及損耗	郵便所名
					終戦後の人員變動	
					作業大隊より 入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員
					隊別計	
					滿洲殘留	收

部隊名 歩兵第三八三聯隊 (四)

通稱 號

滿洲 富嶽 三七三二二三

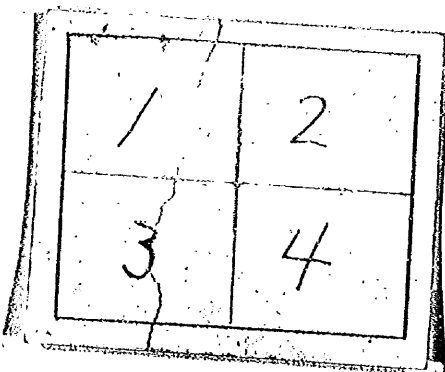
郵便所名

出降					人員割續
隊中通信	隊中砲兵歩	李行隊大三第	隊小砲兵歩三第	隊中銃關機三第	別隊
	少尉 横山 泰郎				隊長名 (内は先代を不す)
					駐屯地
右同	右同	右同	右同	京新	戦時
右同	右同	右同	右同	京新	戦時
					戦闘間の状況及損耗
					終戦後の人員變動
					作業大隊より 入ソの變動
					隊別 計
					滿洲 殘留
					收容所名
					所入
					死亡
					滿洲 より 領 計
					者 数
					状況不明

季行隊聯	隊小馬乘	隊中信通	隊中砲兵步	季行隊大三第	隊小砲兵步三第	隊中銃弱機三第
			少尉 横山 壽郎			
		右同	右同	右同	右同	家新
		右同	右同	右同	右同	家新

李行隊聯	隊小馬乘	隊中信通	隊中砲兵步	李行隊大三第	隊小砲兵步三第	隊中砲兵步三第	
				少尉 横山 泰郎			
		右 同	右 同	右 同	右 同		京
		右 同	右 同	右 同	右 同		京

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

三〇軍

部隊名歩兵第三八四聯隊 (一)

通稱 號 富嶽 三七三三四

郵便所名

全設概要		轉入		轉出		員人調編		別、隊		隊長名		駐屯地		戦斗間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入ソ運の變動		入ソ人員		滿洲残留					
二〇、七、一〇閣下令 二〇、八、五閣下令 (東京) 總指揮部第二六〇〇部隊 日ソ開戦より八、一 東京市内の戦半準備地隊 築豊隊本部は尾玉公園に在 在す 因襲人員約二、〇〇〇 入、一五 大命を拜す爾后市内の暴動 隊本部の飯沼總監及警備主任 八、一九 總司令部より八、一二召 集者五〇〇名召集及八、一 召集者一〇〇名召集す 八、二〇 武蔵野新隊 築豊隊に解散せず一部の召集 者あり 八、二二 築豊隊本部に收容さる 八、二四 隊隊員約一四〇名 九、中 作業大隊編成 築豊隊本部に在り 八、二二上		十九年以降 自二〇、七、一〇 自二〇、八、一 召集入隊 二〇、八、二 召集 五〇〇名 基幹 約五〇〇 一ヶ中一八〇 名内外				3,409		第一聯隊本部 第一中隊 第二中隊 第三中隊		少將 坂田 英 副官 西岡 少尉(應) 附 西川 周 一少尉		大尉 近藤 (應召) 加藤		京新 京新		右同 右同		右同 右同		右同 右同		右同 右同		隊別計 隊別計		隊別計 隊別計	

- アンダレン
- バルハン
- ブガチャチャ
- タシケント (三中隊)
- イルクーツク (一中隊)
- ライヤ (三機中隊 二及三歩兵小隊) 將校一大隊の一部
- クラスノヤルスク (六、七通信中隊)
- ライヤ
- ライヤ



中 三 第		隊 中 二 第		隊 中 一 第		部 本 隊 大 一 第	部 本 隊 聯	別 隊	員 入 制 編
	近藤			加藤		大尉 近藤 (應召)	少將 坂田 英 副官 西岡 少尉(應) 附 西川 周一少尉	隊長 名 (内は先代を示す)	
								戦 闘 間 時 長	關 人
	右 同		右 同	右 同	右 同	右 同	京 新	駐 屯 地 平 時	
	右 同		右 同	右 同	右 同	右 同	京 新	戦 時	
戦 闘 間 の 状 況 及 損 耗									
終 戦 後 の 人 員 變 動									
作 業 大 隊 以 外 入 ソ 送 の 變 動									
隊 別 計									
入 ソ 人 員									
滿 洲 殘 留									
アングレン	バルハン	ブガチャヤ	タシケント (三中隊)	イルクーツク (一中隊)	ライヤ (三機中隊 二及三歩兵小隊) 將校一大隊の二部	クラスノヤルスク (六、七中通信中隊)	收容所名	所 入	死 亡
								滿 洲 以 外 領 土	歸 還 人 員
								計	者 数
									状 況 不 明

部 隊 名 歩 兵 第 三 八 四 聯 隊 (一) 通 稱 號 富 嶽 三 七 三 二 四

郵 便 所 名

三〇〇名  
 二〇〇名  
 一〇〇名  
 五〇名  
 二〇名  
 一〇名  
 五名  
 二名  
 一名

八、一五  
 八、一九  
 八、二〇  
 八、二一  
 八、二二

八、二一  
 八、二二

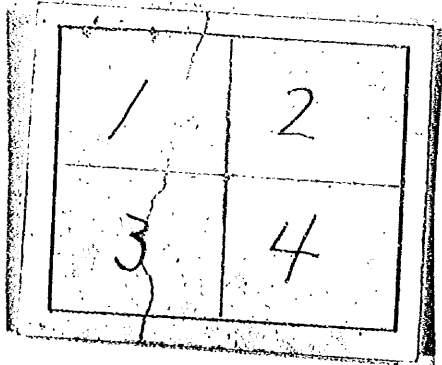
八、下  
 八、中  
 八、上

3.409

隊中銃關機一第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊
	近藤		加藤	大野 近藤 (藤石)	西川 高少 一少
右同	右同	右同	右同	右同	家
右同	右同	右同	右同	右同	家



# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

所屬

三〇軍

部隊名 歩兵第三八四聯隊(二)

連稱號 富嶽三七三三四

郵便所名

全般概要

九、一、一  
作十四(三)大  
〇〇 近衛大隊一〇〇〇名  
(二)主七  
同日十五六  
〇〇 小増大隊以十、一〇〇〇名

將校大隊  
安田少佐、大養中尉、横山少尉編入

將校一大隊  
〇〇 萩原大佐

一〇、二、二  
將校一大隊新近衛河津由入

轉入  
十九年以降

轉出  
十九年以降

員人調綴

隊長名  
( )内は先代を示す

戰時  
人員

駐屯地

新 京  
新 京

戰鬥間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より  
入ッ迄の變動

隊別  
計

滿洲殘留

第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵歩一第	別 隊
倉本 俊三			大尉 小堀			
同	右 同	右 同	右 同	右 同	京 新	駐屯地
同	右 同	右 同	右 同	右 同	京 新	駐屯地

部隊名 歩兵第三八四聯隊 (二) 通稱號 富嶽三七三二四

郵便所名

人員組織		別 隊		第一歩兵砲小隊		第一大隊行季		第二大隊本部		第四中隊		第五中隊	
隊長名 (内は先代を示す)								大尉 小堀					
駐屯地		新 京		新 京		同 右		同 右		同 右		同 右	
戦闘間の状況及損耗													
終戦後の人員變動													
作業大隊より入ソノ變動													
入ソノ人員													
隊別計													
滿洲殘留													
收容所													
收容所名													
所入死亡													
滿洲より領													
計													
狀況不明者數													

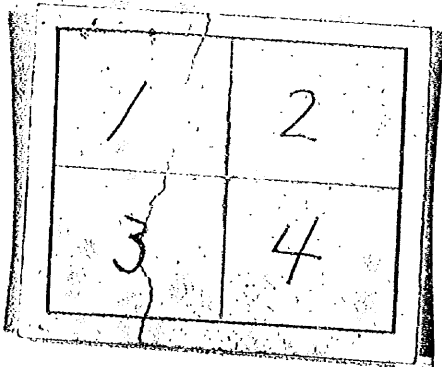
一〇、三三  
 將校二大隊新茶渡河渡中  
 入上  
 一〇、三三  
 將校二大隊新茶渡河渡中  
 入上  
 一〇、三三  
 將校二大隊新茶渡河渡中  
 入上

隊小砲兵歩二第	隊中六第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵歩一第
	倉本 俊三			大尉 小堀		
右同	右同	右同	右同	右同	右同	京彦
右同	右同	右同	右同	右同	右同	京彦

隊小砲兵歩二第	隊中六第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	奉行隊大一第	隊小砲兵歩一
	倉本 俊三			大尉 小堀		
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同



# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1598 1599  
1600 1601

三〇軍

部隊名 歩兵第三八四聯隊 (三)

通稱號

富嶽三七三三四

郵便所名

全般概要			一、進軍 二、戦況 三、戦果 四、戦死者 五、負傷者 六、捕虜 七、戦馬 八、下士官		
轉入			十九年以降		
轉出			十九年以降		
員人別編					
中 八 第	隊 中 七 第	部本隊大三第	李行隊大二第	隊 中 銃 關 機 二 第	別 隊
少尉 (應) 森田		中尉 大渡 正夫 元獨歩三九一大 副官 井出正泰少尉 (應)			隊長名 ( ) 内は先代を不示す
右 同	右 同	右 同	右 同	京 新	開人 駐屯地
右 同	右 同	右 同	右 同	京 新	駐屯地
		八、一、一 廣尾會館に位置す			戰鬥間の狀況及損耗
					終戦後の人員變動
右	右	九、下 十四大、			作業大隊より 入ッ返の變動
					入ッ人員
					隊別計
					滿洲殘留
					收

隊名 歩兵第三八四聯隊 (三) 通稱號 富嶽三七三二四

郵便所名

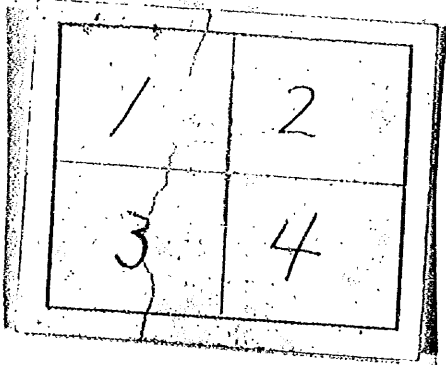
隊名	別	隊長名	隊員	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソノ迄の變動	隊別計	滿洲殘留	收容所	歸還人員	状況不明者数
第八中隊	少尉 (應) 森田			右同								
第七中隊	少尉 (應) 西垣			右同								
第三大隊本部	中尉 大湊 正夫 元獨歩三九一大副官 并出正泰少尉 (應)			右同	八、二一 康徳會館に位置す		九、下 十四大					
第二大隊行李隊				右同								
第二機關隊中隊				京新								
				京新								

八、一、一 廣徳會館に位置す

隊中九第	隊中八第	隊中七第	部本隊大三第	李行隊大二第	隊中銃器二第
少尉(應)平田	少尉(應)森田	少尉(應)西垣	中尉 大湊 正夫 元 獨歩三九一大 副官 井出 正泰 少尉(應)		
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	家
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	家
			八、一、一 廣徳會館に位置す		
同 右	同 右	同 右	九、下 十四大		

隊 中 九 第	隊 中 八 第	隊 中 七 第	部 本 隊 大 三 第	李 行 隊 大 二 第	隊 中 銃 騎 護 二 第
少尉 (應) 平田	少尉 (應) 森田	少尉 (應) 西垣	中尉 大湊 正夫 元獨歩三九一大 副官 井出正泰少尉(應)		
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	左
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	左
			八、一 康徳會館に位置す		
右	右	右	九、下 十四大		

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1000 1000

1000 1000

所 属  
三〇軍  
部隊名 歩兵第三八四聯隊 (四)  
通稱 富嶽三三三四  
郵便所名

全般概要						轉入 十九年以降		轉出 十九年以降		人員編制	
中	信	通	隊中砲兵歩	李行隊大三第	隊小砲兵歩三第	隊中銃關機三第	別	隊			
			少尉 横山 壽郎			少尉 菅野 晃 (弘兵團)	隊長名 (内は先代を示す)				
			180 基幹下士官 15名				戦	開入			
				右 同	右 同	右 同	平	駐屯地			
				右 同	右 同	右 同	戦				
				右 同	右 同	右 同	戦				
			八、八 新京警備 新京市民召集者五〇名受領 八、一 兵器受領				戰鬥間の状況及損耗				
							終戦後の人員變動				
							作業大隊より 入ソノ迄の變動				
							隊別	入ソノ人員			
							計	滿洲残留			

部隊名 歩兵第三八四聯隊 (四)

通稱 富嶽三七三二四

郵便所名

編制					人員	別
中	信	通	隊中砲兵歩	李行隊大三第	隊小砲兵歩三第	隊中銃關機三第
			少尉 横山 壽郎			少尉 (弘兵團) 菅野 晃
			180 基幹下士官 15名			( ) 内は先代を示す
右 同			右 同	右 同	右 同	新 京
右 同			右 同	右 同	右 同	新 京
			八、八 新京警備 新京市民召集者五〇名受領 八、一 兵器受領			
戦闘間の状況及損耗						
終戦後の人員變動						
作業大隊より 入ソシ迄の變動						
入ソシ人員						
隊別計						
滿洲残留						
收容所名						
收容所						
人員所入						
死亡						
滿洲ソシ領より						
歸還人員計						
者数						
状況不明						



李行隊聯	隊小馬乘	隊中 信 通	隊中砲兵歩	李行隊大三第	隊小砲兵歩三第	隊中砲兵歩三第
			少尉 横山 彦郎			少尉 横山 彦郎
			180 基幹下士官 15名			
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
			八、八 新軍警備 新軍市民五〇名 八、一 兵隊受領			

李行隊聯	隊小馬乘	隊中信通	隊中砲兵步	李行隊大三第	隊小砲兵步三第	隊中砲兵步三第
			少尉 横山 善郎			
			100 基幹下士官 15名			
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	京 師
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	京 師
			八、八 新京警備 新京市民召集者五〇名受領 八、一 兵基受領			